

台風は激甚化などしていない

杉山 大志 (すぎやま たいし) 一般財団法人キャノングローバル戦略研究所 研究主幹

地球温暖化に関する報道を見てみると、間違い、嘘、誇張がたいへんによく目につく。そしてその殆どは、簡単に入手できるデータで明瞭に否定できる。本誌は科学に明るい読者ばかりだから、これから毎回、グラフを使ってデータを紹介してゆきます。

1. 台風は増えていない

台風シーズンになり、被害が出る度に、「地球温暖化のせい」で台風が「激甚化」している、「頻発」している、といったニュースが流れる。そこには毎度おなじみの“専門家”が登場し、「温暖化すれば台風が激甚化するの当然だ」とのたまう。

だがこれは完全にフェイクニュースであることを見ていこう。

まず、台風が増えていないことは図1の通り。増えていないのは明らかで、むしろどちらかという、減っているように見える。

なお図1のように、台風の数には年々変動している。偶々数が多いとニュースになり、温暖化のせいとされるのがままたま有る。だが温暖化はゆっくりと起きる事象なので、数十年から百年といった長期的なトレンドを見なければ意味が無い。年々の変動は自然変動に過ぎない。

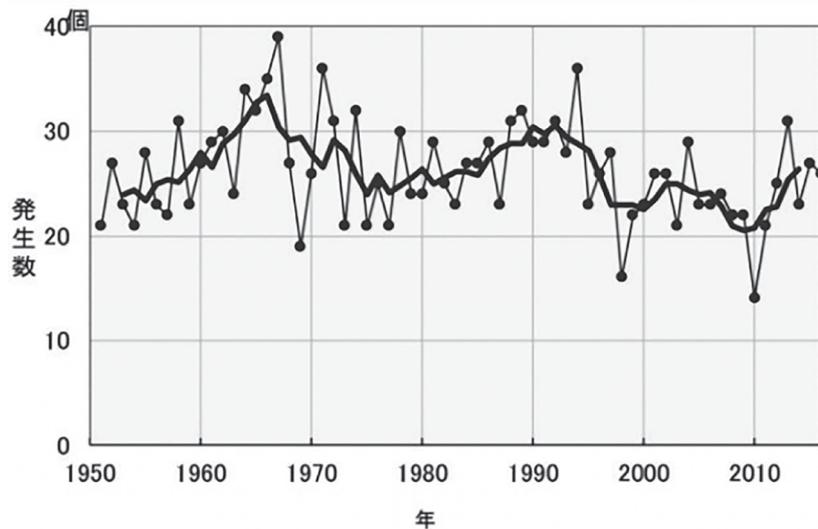


図1 台風の発生数の経年変化。折れ線グラフが毎年の発生数、太線は前後5年間の移動平均。出典：政府資料 (p54)¹

¹ 環境省 文部科学省 農林水産省 国土交通省 気象庁、気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート2018、2018年2月。
http://www.env.go.jp/earth/tekiou/report2018_full.pdf